

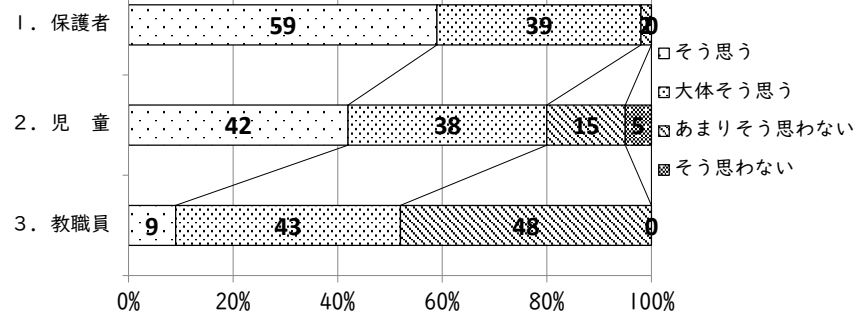


令和5年度 伏見南浜小学校 第1回学校評価 アンケート結果と考察 ～生活面～

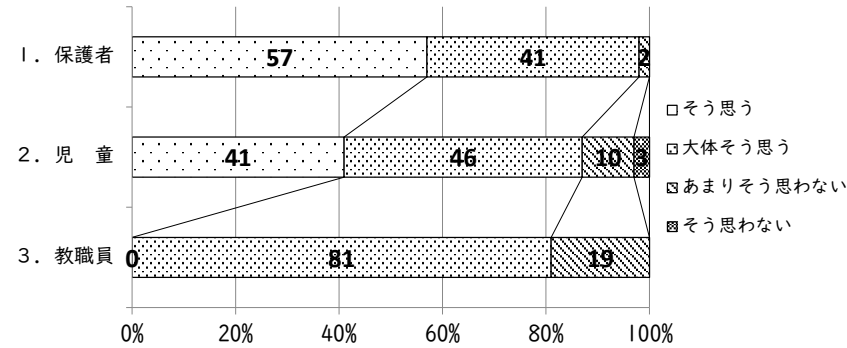
第1回 学校評価アンケート結果について

7月に行った学校評価アンケートでは、340件近くの保護者の方々からの回答をいただき、ありがとうございました。さて、本年度の第1回目の学校評価アンケートは、昨年度に行ったアンケートと同じ内容でアンケートを実施しました。昨年の結果と変化した箇所と保護者・児童・教職員の3者で捉え方に差があった箇所が見られました。また、自由記述欄では、「考える力を高めるためにはどんなことが大切だと思いますか。」について、保護者・教職員へご意見を伺いました。

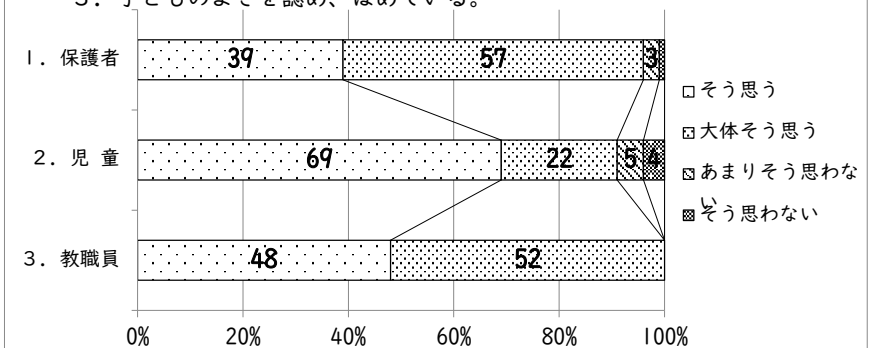
- ① 1. 我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。
2. じぶんからすすんで、あいさつをしている。
3. 子どもが自分から進んであいさつできていると思う。



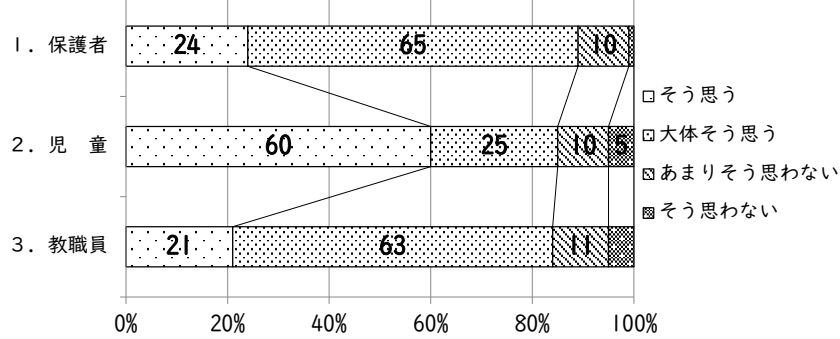
- ② 1. 我が家では、子どもに、自分の気持ちを言葉で伝えるように促している。
2. じぶんのきもちをあいてにわかるように、ことばでつたえることができている。
3. 子どもが自分の気持ちや考えを言葉などで表現できていると思う。



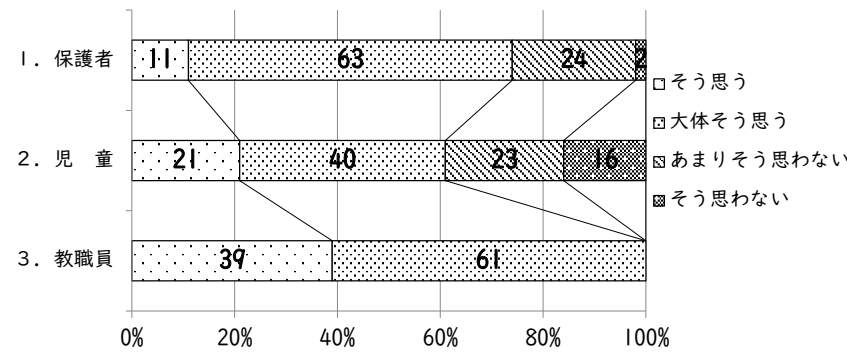
- ③ 1. 我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。
2. おうちでは、がんばったことをほめてもらえる。
3. 子どものよさを認め、ほめている。



- ④ 1. 我が家では、子どもの交友関係を把握している。
2. おうちでは、ともだちのことをよくはなしている。
3. 子どもの交友関係を把握している。



- ⑤ 1. 我が家では、丁寧な言葉で子どもと会話をしている。
2. おうちでは、ていねいなことばでおはなしをしている。



昨年度より、アンケートはオンラインで実施しております。学校教育目標では、「自ら考え判断し、つながりを大切にしながら、豊かに表現する子の育成」と掲げております。デジタルとアナログのそれぞれの良さを生かして、保護者の方ともつながられればと思います。

学校HPもどうぞ→



1. 生活面

①「あいさつ」は、本校が掲げている『伏見南浜小学校のみんなで大切にしたい4つの【あ】「あいさつ」「あさごはん」「あんぜん」「ありがとう』の一つです。昨年度の1回目の数値と比べると、保護者と児童には大きな変化はありませんでした。しかし、教職員の「そう思う・大体そう思う」が62%から52%へと10ポイント減少しています。今年度、本校が子どもたちに付けたい資質・能力は「考える力」「コミュニケーション力」「表現力」です。あいさつは、この「コミュニケーション力」「表現力」の土台となるものと考えています。子どもたちと一緒に今一度、あいさつをする気持ちよさやあいさつをもらううれしさについて話し合い、あいさつの大切さを考えていきたいと思います。

②「気持ちを伝える」については、3者の捉え方について差が見られ、教職員の「そう思う」は0%となっています。教職員は、クラス全体・学校全体の児童を評価しているので、少数でも気持ちを伝えることに課題がある児童がいると「そう思う」とは回答しにくいと考えているためだと思います。この項目では、その傾向がより大きくでいると考えられます。また、前回の結果と比較しても大きな変化はありませんでしたが、今回の調査でも前回と同じように児童の13%が「あまりと思わない・そう思わない」と答えており「うまく表現できていない。思いを伝えることができていない。」と感じている児童もいることがわかります。今年度、学校が掲げている目指す資質・能力の一つが「表現力」です。昨年のアンケートでは、保護者の皆様からも「表現力を高めるためには」としてご意見をたくさんいただきました。そのご意見も参考にしながら、子ども一人一人が自信をもって自分の気持ちや考えを伝えられるよう取り組んでいきたいと思います。

③昨年度の1回目の結果と比較すると「子どもたちのよさを認め、褒める」ことについては、児童・教職員には、大きな変化はありませんでした。しかし、保護者の「そう思う・だいたいそう思う」は86%から96%に10ポイント増加しています。これは、大変うれしい結果です。人に褒められたい、認めてもらいたいという承認欲求は、2つに分けられるといえます。他者から称賛されたいという欲求と他者の評価から自立し、自分を承認できるかという欲求です。前者の欲求が満たされていないと後者の欲求を満たすことは、なかなかできません。周りの人が褒めてくれる、認めてくれるから自己肯定感が高まっていくという構図です。自己肯定感が高まると何事にも積極的に取り組み、新しいことに挑戦したり、失敗しても自分自身の価値が変わるわけではないことを認識しているので、失敗を生かして次の挑戦に進みやすいなどと言われています。学校でも引き続き保護者の皆様と協力して、子どもたちを認め褒めていきたいと思います。

⑤「言葉づかい」に関しての質問についても、大きな変化はありませんでした。言葉づかいや話し方で人が受ける印象は大きく変わるといわれます。学校では、様々な考えをもたれたご家庭からお子たちを預かっております。言葉の受け取り方も子どもによって様々です。ある子にとっては気にならない言葉でも、ある子にとっては大きなショックになることもあります。色々な子どもが一緒になって成長していく学校だからこそ、みんなが気持ちよく感じる言葉づかいに引き続き気を付けていきたいです。